



平成会 濱崎 清志 議員

▼福祉行政について

Q 高齢者入浴サービスについて、昨年度は利用期間を敬老週間の一週間に延長し、六枚の入浴券を給付されているが、もう少し期間を延長できないか。

A 来場された方々については好評をいただいたが、一般利用者からは混雑して大変入浴しづらいといった声も寄せられている。昨年度の状況も踏まえ、利用期間や発券枚数をどうするか早急に検討していきたい。

Q 男女雇用機会均等法による女性の社会進出とともに、深夜営業の解禁によるコンビニエンスストアでの勤務など、市内でも二十四時間型社会が大きく展開していく中、病院やグループホーム等、深夜業務に従事する方が多い。市内の保育所では二十四時間保育は実施されていないが、今後はどのように考えているのか。

A 現在、市内には二十二カ所の保育所があり、すべての保育所で延長保育を実施しており、最も遅い開所時間は午後八時までとなっている。申込書等によると、入所している約千百世帯のうち約十世帯が午後八

時以降も仕事をしていると把握している。まずは、午後八時以降の延長保育や二十四時間保育についてのニーズの把握に努め、その結果を踏まえて検討する必要がある。

▼定住促進について

Q 市の公共交通計画の進捗状況はどうなっているのか。

A 本年三月に島原市地域公共交通総合連携計画を策定した。本年度は、本計画に基づく国の事業認定を受け、市内中心部の商業集積地を循環するバス路線の実証運行の実施等を計画し、現在、国に対する補助申請にあたり運行回数等実施方法について交通事業者等と調整を行っている。

Q 定住対策として固定資産税相当額を奨励金として交付するなど、定住促進に向けたプロジェクトチームをつくる考えはないか。

A まずは島原に住んで働きたいと思えるような基本的なまちづくりを進めることが非常に大事であり、そのためにも施政方針の三つの行動方針と五つのビジョンを確実に推進し魅力ある島原市づくりを進めることが定住促進につながると考えている。奨励制度については、調査研究してみたい。



政策研究会 清水 宏 議員

▼市民からの質問

Q 本年三月に退職した市職員の再就職先について、①退職金、年金、②再就職先の名称、③月収、④在職予定年数を伺いたい。また、市民から下りとの批判があるが、どう考えているのか。

A ①個々については在職年数も異なり個人的なことなので答弁を差し控えるが、退職者十二名の退職金の平均は約二千六百万円、年金は在職三十八年の方で満六十四歳の満額支給で年額約二百二十万円である。

②市五名、土地開発公社一名、教育文化振興事業団二名、社会福祉協議会一名、シルバー人材センター一名と把握している。③市で雇用している五名は、業務内容等により二十万円と約十四万円と六万五千円である。他団体は、それぞれ各団体の規程に基づいている。④市は一年契約の更新で、他団体は一年及び二年、あるいは六十五歳の定年制となっている。

市としては、長年、市職員として勤務しそれぞれの業務に精通し経験と知識を生かせるものと判断をして、非常勤職員として工事検査員、市民相談センター相談員、中

学校における生徒の心の教室相談員としてそれぞれ適材適所に配置している。他団体では、試験やその人の識見、人格等により判断され、採用されたものと認識している。

Q 特別職、市議の退職金、年金について尋ねる。

A 特別職の退職手当は、条例の規定により任期四年で算定した場合、市長で約二千万円、副市長は約一千万円、教育長が約六百万円で、議員は自治法の規定により支給対象ではない。また、特別職の年金は、勤続年数及び平均報酬月額に基づき支給されることになるが、個々の前歴もかわってくるので試算するのが難しい。

議員の年金は、在職期間が十二年以上の議員を対象に支給規定が設けられており、勤続年数に応じた平均標準報酬年額に一定の率を乗じた額が支給される。

【その他の質問項目】

- ◇有効求人倍率、高齢化率、合計特殊出生率について
- ◇市議、市職員の税金滞納問題
- ◇島原城菖蒲園への不評について

